

令和 6 年度 基本方針・事業計画

光野デイサービスセンター拠点区分

1. 基本方針

①利用者本位のサービスの実践

- ◇ニーズに応え意思、尊重を大切にする施設作り（要望を取り入れる）
- ◇公正、透明性の高い法人を目指します

②個別対応の体制を整える

- ◇利用者が求める介護サービスを提供する
- ◇身体機能の軽減を図り機能訓練を提供する

③利用者の人権、人格を尊重する

- ◇コンプライアンスの徹底（人権擁護）

2. 事業計画（令和 6 年度～令和 7 年度）

● 安定した利用者の確保と健康づくり

居宅介護支援センターからの新規利用者の獲得と、利用者のひやり・事故防止に努め、ご利用者様がお休みされることがないように健康寿命を勧める。

● 地域の拠点としての役割と、地域貢献事業

併設する包括支援センター、居宅介護支援センター、と協力し家族からの緊急利用要請の受け入れ、介護に関する相談に応じる。

● 「現状維持」の介護へ

ご利用者様ひとり一人にあった自立支援ケアに取り組み、認知症の症状を抑える「4つのケア」を実践していきます。

● 地域での「助け合いの輪」を広げ、介護相談、社会資源の活用法や、車椅子、AED の提供等福祉ニーズに努め、常に地域の拠り所をめざす。また、地域ボランティアの受け入れ、地域行事へ（文化展見学）参加していく。

● 業務継続計画（BCP）の訓練、見直し、継続の実施

地域町内会（あさひ荘苑）との防災訓練、自然災害時の準備・検討の実施

● ご意見ご要望又はご相談に応える

満足度調査を行い、ご意見ご要望又はご相談に応じていく。

● 選択式レクリエーション（プログラム）と個別機能訓練への取り組み

利用者の年齢層も 70 代から 100 歳代と幅広いことや、男性利用者が約 1/2 を占めることなどから個人の意思を尊重し利用者様のそれぞれお好きな趣味や、自立支援や生活機能改善につながるレクリエーション（体操、脳トレーニング）、を取り入れる。また、リハビリを繰り返し続け下肢筋力を鍛えることで、「転ばない」「転ばせない」ことを働きかけ、介護予防、をめざす。

● 新型コロナウイルス感染予防対策に努め、行事等の実施。

● ブログ、広報誌等事業広報活動の充実。

● ケアパレット、業務改善ソフトを使用し、正確な記録と業務改善をしていく。

● 設備、備品等の計画

退職職員のお知らせ



光野デイサービスセンター所長

親谷 誠一郎

今回私の一身上の都合により、6月いっぱい光野デイサービスセンターを退職することとなりました。所長職をさせていただいた8年2ヶ月、至らぬ点もたくさんありご迷惑をおかけしたと思いますが、皆様に支えられたたくさんの方の事を学ばせていただきました。皆様と一緒に過ごした楽しい日々は大切な思い出です。

これからもお元気でお過ごしください。

今までお世話になり、ありがとうございました。

熱中症予防について

いつでもどこでもだれでも条件次第で熱中症にかかる危険性がありますが、熱中症は正しい予防方法を知り、普段から気をつけることで防ぐことができます。

例えば、初夏や梅雨明け・夏休み明けなど、体が暑さに慣れていないのに気温が急上昇するときは特に危険です。無理せず、徐々に体を慣らすようにしましょう。

熱中症は、

- ① 気温や湿度が高いなどの**環境** ② 暑さに体が慣れていない・寝不足などの**体調** ③ 激しい運動や水分補給ができない状況などの**行動**の3つの要因により、体の調整バランスがくずれ、引き起ります。高齢者は、暑さや水分不足に対する感覚機能やからだの調整機能も低下しているので、気を配る必要があります。

また、熱中症は、屋外だけでなく就寝中など室内でも発生します。熱中症患者の半数は高齢者と言われており、特に注意が必要です。

熱中症の症状

- ① めまいや顔のほてり ② 筋肉痛や筋肉のけいれん ③ 体のだるさや吐き気 ④ 汗のかきかたがおかしい ⑤ 体温が高い、皮膚の異常 ⑥ 呼び方に反応しない、まっすぐ歩けない ⑦ 水分の補給ができないなど、このような症状が出ないよう日頃から熱中症予防に努めていきましょう

熱中症の予防には、

- ① のどの渇きを感じなくてもこまめな水分や塩分補給を行いましょう。バランスの良い食事を取り、体調管理することで、**かかりにくいからだ作り**をしていきましょう。
- ② エアコンや扇風機、換気などで室温調整を行う、涼しい服装をするなど暑さを避けること、睡眠環境を整え寝ている間の熱中症を防ぐことなどが大切です。

熱中症リスクの高い高齢者の方には、周囲の人からも積極的な声掛けを行いましょう。